

肺炎球菌ワクチンのご案内

日頃より当院をご利用いただきありがとうございます。

このパンフレットでは、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方に特に知っていただきたい**肺炎球菌ワクチン**についてご説明いたします。

なぜ肺炎球菌ワクチンが大切なのか

肺炎は日本人の死因の上位を占める病気であり、とくに高齢の方にとっては命に関わることも少なくありません。成人の肺炎の原因菌としてもっとも多いのが「肺炎球菌」です。

年齢を重ねると免疫力が少しずつ低下し、風邪などをきっかけに肺炎を起こしやすくなります。また、糖尿病、心臓の病気、呼吸器の病気などの基礎疾患をお持ちの方は、肺炎が重症化しやすいことがわかっています。

注意したい『**侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）**』とは

肺炎球菌は、肺に入って肺炎を起こすだけでなく、さらに重い状態を引き起こすことがあります。

それが『**侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）**』です。

侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）とは

本来は細菌がないはずの血液や髄液（脳や脊髄の周りの液体）などに肺炎球菌が入り込んでしまう、非常に重い感染症です。

- 菌血症・敗血症：血液の中に菌が入り込み、全身に回ってしまう状態
- 髄膜炎：脳や脊髄を包む膜に菌が感染する状態

これらは急に悪化し、命に関わる危険性が高い病気です。

ワクチンで期待できること

肺炎球菌ワクチンは、すべての肺炎を防ぐものではありません。しかし、肺炎球菌による重症感染（肺炎の重症化や、侵襲性肺炎球菌感染症など）の予防に役立ちます。健康な毎日を長く続けるための一つの準備として、ワクチン接種をご検討ください。

当院で接種できる肺炎球菌ワクチン

当院では、**65歳以上の方**を対象に、肺炎球菌ワクチンのご相談・接種を行っております。以下の料金は**名古屋市民の方**の目安です。

名古屋市民向け 接種料金（税込）	
プレベナー（PCV20） （沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン）	5,600 円 ※過去に肺炎球菌ワクチンの接種歴がある方は、公費助成がないため 11,000 円
キャップボックス（PCV21） （沈降 21 価肺炎球菌結合型ワクチン）	13,000 円

※名古屋市の肺炎球菌ワクチンの助成は、生涯で 1 回だけです。名古屋市民以外の方でも接種は可能ですが、手続きや接種料金については、お住いの自治体にお問い合わせください。

プレベナーとキャップボックスの違い

どちらも肺炎球菌に対する結合型ワクチンです（生ワクチンではありません）

プレベナーは 20 種類、キャップボックスは 21 種類とより広い範囲の肺炎球菌の型に対応しています。キャップボックスは対応する型がより多い一方で、接種費用は高くなります。

接種にあたっての重要なご注意

肺炎球菌ワクチンにはいくつかの種類がありますが、

- ご年齢
- 過去の肺炎球菌ワクチンの接種歴（いつ、どのワクチンを打ったか）
- お持ちの基礎疾患

これらによって、どちらのワクチンを接種したほうがよいか変わってきます。そのため、**ご自身での判断ではなく、必ずご相談いただいた上で接種するワクチンを決めさせていただきます。**

**ご希望の方は、受付または診察時に
お気軽に医師・スタッフへご相談ください。**